

# 愛か、暴力か。

戸塚ヨットスクールが投げかける「教育」の正体

校内暴力

氏捕

家庭内暴力

# 1980年代：教育が「崩壊」した時代

- 校内暴力の嵐：教師への暴行、窓ガラスの破壊。学校機能の麻痺。
- 家庭内暴力の地獄：親が子に怯え、金属バット事件など凄惨な事件が連日報道される。
- 「助けてくれ」：警察も病院も学校も、暴れる子供たちを止められなかった。

戸塚ヨットスクールは、社会の「機能不全」が生み出した、最後の駆け込み寺（マーケット・ニーズ）だった。

1980年代

家庭内暴力



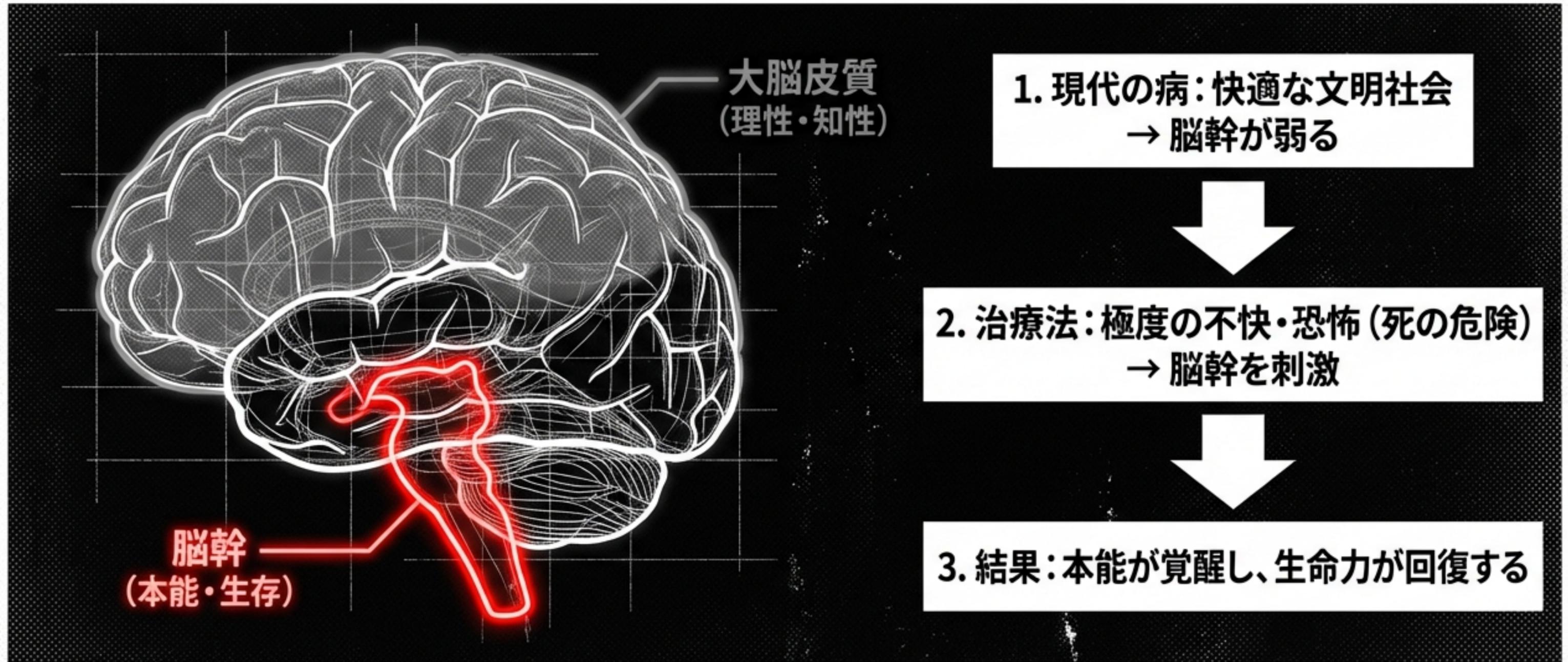
# 「自然」を制した男、戸塚宏

1975年：沖縄海洋博記念「太平洋単独横断ヨットレース」  
優勝。

エンジニアの視点：名古屋大学工学部卒。「結果」と  
「物理的法則」を重んじる理系脳。

**「大自然は妥協しない。  
死に直面したとき初めて、  
人間は『生きる力』を  
取り戻す」**

# 戸塚理論の核心：「脳幹論」



「理性(知育)では本能を制御できない。まずは本能を鍛え直すしかない」

# 「体罰」は善、「暴力」は悪である

## 暴力 (VIOLENCE)

- 目的：自分の感情の発散（利己的）
- 結果：相手を破壊する
- 判定：悪 (EVIL)

## 体罰 (CORPORAL PUNISHMENT)

- 目的：相手の進歩・教育（利他的）
- 手段：恥と痛みを与える
- 結果：進歩への原動力となる
- 判定：善 (GOOD)

「リベラルな欧米流の教育（女の仁）が、  
子供をスポイルし、ダメにした」

# 崩壊した論理：事件のクロニクル

- 1979年：最初の訓練生死亡事故。
- 1980年：21歳大学生、暴行を受け外傷性ショック死。
- 1982年：奄美大島合宿。フェリーから2名の少年（15歳）が海に飛び込み行方不明（死亡認定）。
- 1982年：13歳少年、入校直後の暴行により死亡（外傷性ショック）。

「訓練」の名下に行われた行為は、  
明白な「死」をもたらした。

# 司法の断罪：懲役6年の実刑判決

Legalmat

1983年：校長およびコーチら一斉逮捕 → 2002年：最高裁で刑が確定

「**個人の尊厳を侵す暴力は、**  
**いかなる教育的意図があっても許されない**」

「**特異な独自の理論に基づく、常軌を逸した行使**」

戸塚の主張：「法律こそが間違っている」

# 医学界からの「完全否定」



**非科学的：「脳幹論」に医学的根拠は一切ない。**



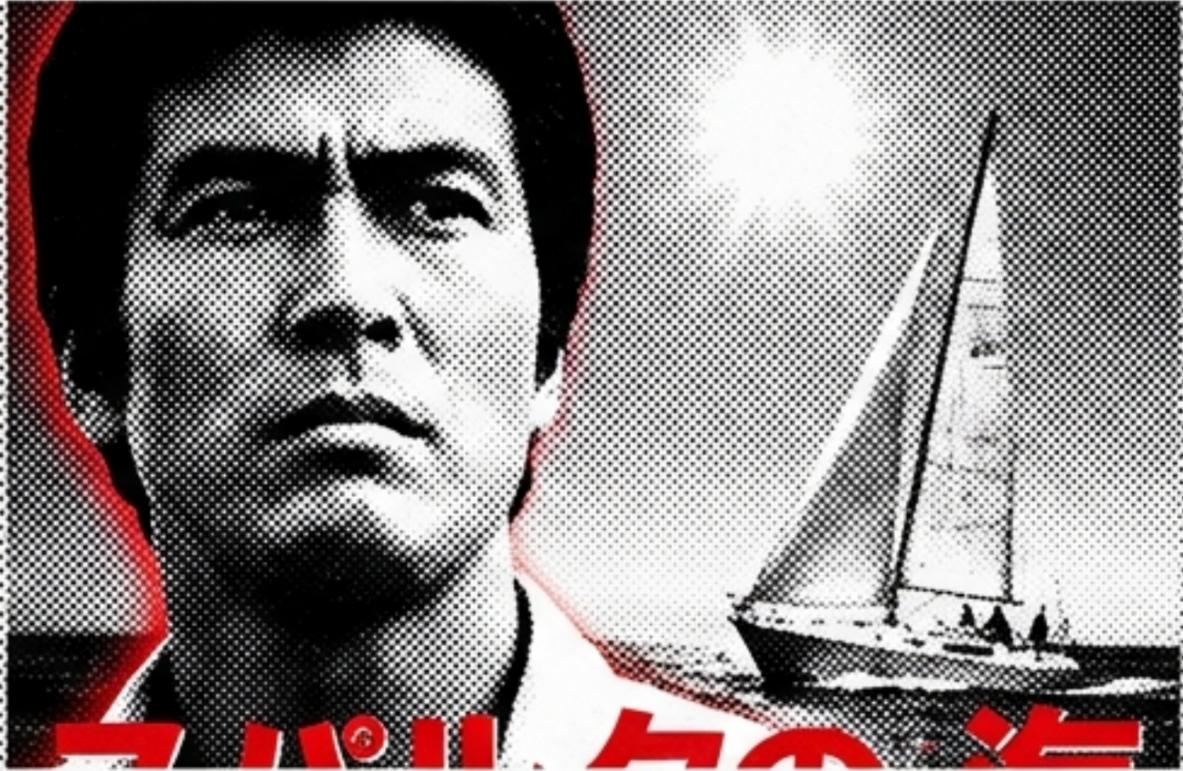
**人権侵害：恐怖と苦痛を与える手法は、治療ではなく「虐待」である。**



**危険性：発達障害や精神疾患を持つ子供にこの手法を用いれば、症状は悪化し、自殺リスクを高める。**

**「精神医療に携わる者として、これを看過することはできない」**

# メディアが見た「二つの顔」



映画『スバルタの海』  
(1983製作/2011公開)

描かれ方：愛のムチ、熱血教師、更生の感動。



ドキュメンタリー『平成ジレンマ』  
(2010公開)

描かれ方：システムから排除された家族の悲鳴、  
解決策のない現代社会の闇。



時代は戸塚を「熱血教師」から「社会の矛盾そのもの」へと書き換えた。

# なぜ、親たちははまだ「戸塚」を求めめるのか？

病院は薬漬けにするだけ

学校は退学になった

密室  
(Closed Room)

「殺されるか、殺すか」  
まで追い詰められた

- 出所後の再開(2006年): 戸塚校長は現場に復帰。
- 続く悲劇: 2006年以降も、自殺・転落事故により複数の訓練生が死亡。

溺れる親にとって、戸塚ヨットスクールは唯一、  
「私が直す」と断言してくれた存在だった。

# 「平成ジレンマ」：排除か、包摂か



1. 社会が「異物」を生み出す。→
2. 公的システムは彼らを排除（たらい回し）する。→
- 3. 家族は孤立し、極端な「矯正施設」に頼らざるを得なくなる。

「戸塚」を否定するのは簡単だ。だが、その代わりとなる「受け皿」を、私たちは持っているか？

# あなたは、この「熱」をどう受け止めるか

戸塚ヨットスクールは、科学的には否定され、法的には断罪された。  
しかし、そこにある「需要」は消えていない。

行き場のない「暴力」と、孤独な「愛」。  
このスクールの存在は、現代社会が解決を放棄した「宿題」そのものである。

# 参照資料・出典

最高裁判所 判例集 (2002)

日本児童青年精神医学会 理事会声明 (2015.04.15)

日本総合病院精神医学会 理事会声明 (2015.05.09)

映画『スパルタの海』(西河克己監督 / 東宝東和)

ドキュメンタリー『平成ジレンマ』(東海テレビ)

『精神医学』 Vol. 57 (2015)

各報道資料 (朝日新聞、毎日新聞、共同通信 他)